

## 「おひさまと鳥の声」

我が家のベランダの向こうには、木立が広がっている。  
季節の移ろいととも、葉が茂り、紅葉し、落葉するから、風の音が変わる。  
今は、ほとぼしるような新緑が勢いを増しているから、風が吹くと  
ザワザワと重たい音をたてる。  
ちなみに、冬木立の枯れ枝の、カタカタと響く音も風情があってよかった。  
月並みだけど、いつの季節も、それぞれに味わい深い。

そんな木立が広がっているから、我が家のベランダのすぐ傍に植えられている  
モミジの枝には、野鳥のお客様が後を絶たない。  
野鳥のことはよく知らなかったので、モミジの枝のお客様について調べてみたら  
どうやらヒヨドリらしいことがわかった。  
たしかに、ヒーヨヒーヨと鳴いている。

ベランダにいと、木立のほうから鳥の声が重なり合って響いてくる。  
いろいろな鳥が、いくつもの枝で木の実をついばんでいるに違いない。

洗濯物を干しながら、日の光にあたって風を受け、鳥の声を聴いていると、  
気持ち良すぎて機能停止状態になる。  
そして、そんな自分にハッと気づいて、あわてて頭をぶんぶんと横に振る。

そういえばよく晴れた日など、部屋の中にさっと影が通ることがある。  
鳥が日の光をさえぎって通り過ぎたのだろう。  
鳥と太陽の交錯した瞬間が切りとられ、部屋の中に舞い込んだのだ。  
通りすがりに立ち寄ってくれたような気がして、その行く先を少しだけ想像してみる。

じっと声を聴く。  
そっと見守る。  
これからの行く先に思いをはせる。  
大切に想い、感謝する気持ちがそうさせる。  
そんな存在が身近にあることは、とても嬉しい。

